

経営統合による 地域価値と企業価値の向上に向けて

2024年5月10日(金)

※東京証券取引所

2023年3月31日付

「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」

「株主との対話の推進と開示について」

も踏まえ段階的な取組みを開示するものです



いつも、いつでも、いつまでも。

福井銀行



ゆめBANK

福邦銀行

企業価値向上に向けた当行の課題

当行のPBR
(連結/2024年3月末時点)

0.33倍

参照ページ

課題1

**「地域価値循環モデルの実現」に対しての
ステークホルダーの理解を高める**

長期ビジョン「地域価値循環モデルの実現」に向けた取組みによって企業価値が向上することへの理解を高めることで 将来的に資本コスト上のβ値(＝企業の事業リスクへの投資家理解を反映したもの)が低下していくことを期待しております

3P

4P

5P

6P

7P

課題2

自己資本を増強しながらの収益力強化

ROE(2.87%)、OHR(80.1%)、自己資本比率(7.41%) など
※括弧内の数値は いずれも連結2024年3月期実績

7P

8P

上記2点については、2024年3月期中間決算発表資料「3. 企業価値向上に向けた取組み」において現状認識を示しております

また 同資料公表後に行った株主のみなさまとの対話の中でも 同様のご意見をいただいております

地域価値の向上が 当行の企業価値を高めることにつながります

わたしたちが ウェルビーイングを実感しながら 地域やお客さまのチャレンジに伴走することで
まずは福井県の活力人口と県民所得の増加を目指します
その伴走への対価を 次の100年のチャレンジと成長へ投資していきます

[地域価値循環モデル]

生み出された価値が
新たなチャレンジに循環[地域のチャレンジに伴走]
活力にあふれた地域の実現[お客さまのチャレンジに伴走]
事業成長や資産形成の実現[職員のチャレンジに伴走]
ウェルビーイングの実現

連結当期純利益

100 億円

福井県活力人口[※]

100 万人

1人あたりの福井県民所得[※]

+100 万円

ウェルビーイングを実感する
職員の比率

100 %



Fプロジェクト Vision 2032

チャレンジ
ゴール

チャレンジ
ゴール

ウェルビーイングを実感する職員の比率100%

職員が心身ともに健康で社会的にも幸福であることが

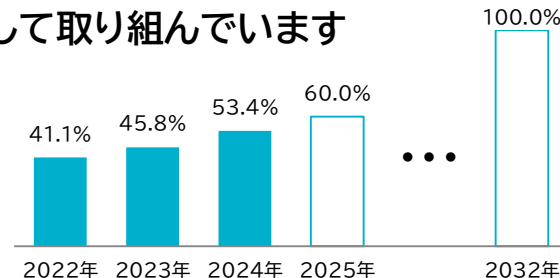
地域の成長にとっても 企業の成長にとっても 不可欠と位置づけ ウェルビーイング経営に取り組んでいます

- ◆ 他社でも取組みが活発化
- ◆ オックスフォード大学
2023年5月12日
「Workplace wellbeing
firm performance」

ウェルビーイングと
企業の財務パフォーマンスとの
相関が大規模データ
(クラウドソーシング・データ)で
示されています

- ◆ Fプロジェクトでは
職員がチャレンジを通して成長しながら働きがいを感じるという
「**グロースゾーンで感じるウェルビーイング**」を掲げています
- ◆ ウェルビーイングを構成する4つのキーファクターごとに具体的な
取組みを実施しています
- ◆ 年1回全役職員向けに行うウェルビーイングのアンケートにおける
ポジティブ回答100%を目指して取り組んでいます

※ウェルビーイング向上への取組み
については本日発表している
決算説明資料をご参照



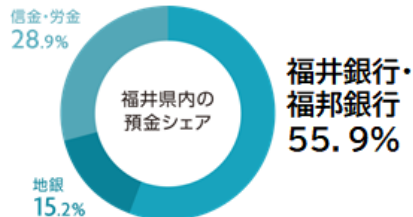
チャレンジ
ゴール

1人当たりの福井県民所得 + 100万円

福井県内シェア50%を超える県内最大の金融グループとして
中期経営計画に基づく取組みを通じて 主体的にお客さまの事業成長や資産形成を実現することで
県民所得の増加につなげます

※中期経営計画に基づく取組みについては 本日発表している決算説明資料をご参照

預金・貸出金シェア(2行合算)



(令和5年9月末時点)

2兆3,403億円
(2024年3月末)

2022年(実績)

県民所得	2兆4,824億円
総人口	76万人
1人当たり 県民所得※	326万円

※1人当たり県民所得
福井県は全国3位(2020年)

「日本の長期的な成長率は
中長期的に実質2%名目3%程度の成長」
(内閣府:中長期の経済財政に関する試算(2024年1月))

2032年(推計)

県民所得	約3兆円 +5千億円 ↑
総人口	70万人
1人当たり 県民所得	430万円 +100万円 ↑

※1人当たり県民所得は 県内全体の「雇用者報酬」「企業所得」
「個人の財産所得」等の合計を 県の総人口で割ったものです

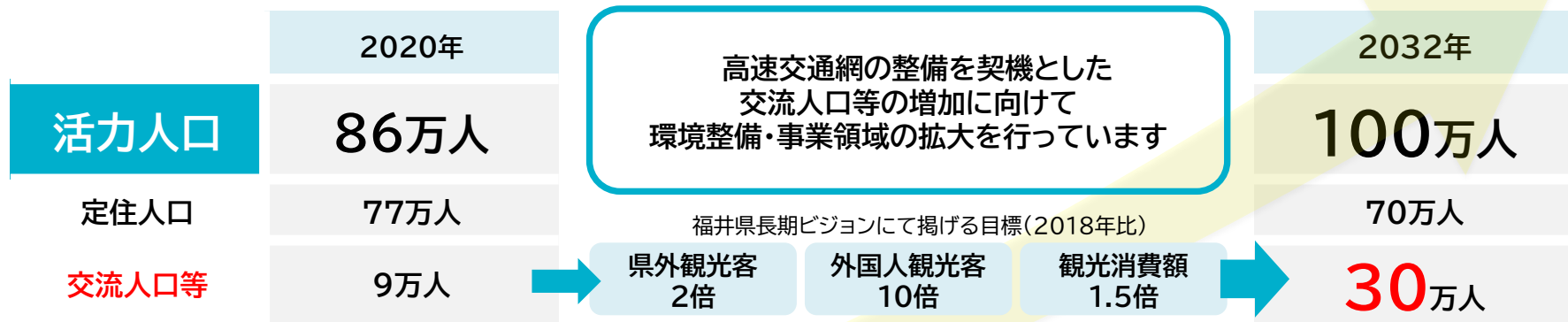
チャレンジ
ゴール

福井県の活力人口100万人

観光庁の試算では
 定住人口1名
 =外国人旅行者8名
 =国内宿泊旅行者23名
 =国内日帰り旅行者75名

福井県が2040年に活力人口100万人を目標にかかげるなか(「福井県長期ビジョン」)

ハード、ソフト、ネットワークを強化する取組みにも注力し 活力人口100万人の早期実現を目指します



交流が地域を元気にし経済を活性化させる

新幹線延伸を踏まえた環境整備

福井駅 福井駅前電車通り北地区A街区



再開発事業の
立ち上げ、事務局
の運営など
これまで8年支援

観光消費の促進のための物販事業

 ふくいヒトモノデザイン株式会社 プロデュース



『水ようかんサンドクッキー』

JR福井駅「おみやげ処 福井」

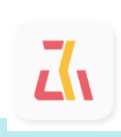
販売金額・販売数ともに



デジタルを活用した観光客の利便性促進

 ふくいのデジタル 『ふくアプリ』を活用
Digital for Fukui Co., Ltd.

福井県デジタル地域通貨
『ふくいはいびコイン』
福井県内鉄道・バスで使える
『ふくいMaaS』



チャレンジ
ゴール

連結当期純利益100億円

目標

60億円以上
(2030年3月期・単年度)

2030年3月期の経営指標等の見通し

チャレンジゴール

2032/3

100億円

経営統合によるシナジー

コストシナジー(単年度) トップラインシナジー(単年度) 経営統合費用(単年度) ネットシナジー(累積)

2025.3 2026.3 2027.3 2028.3 2029.3 2030.3

 2026.5
経営統合

 経営統合後2年目には
合併費用を回収し
累積黒字化見込み

連結当期純利益

2024/3

37億円

2030/3

80億円以上

連結自己資本比率

7.41%

9%以上

連結ROE

2.87%

5%以上

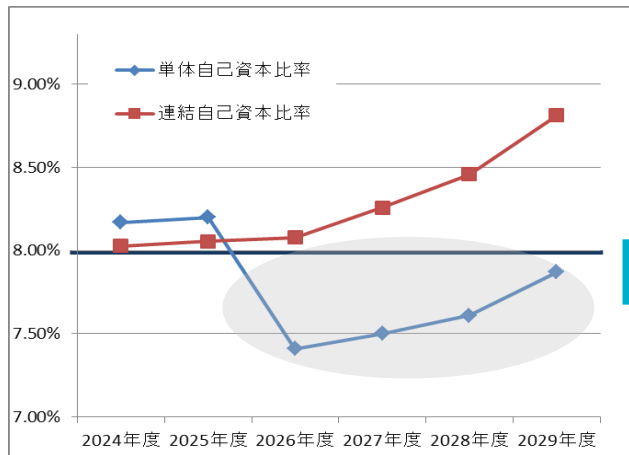
連結コアOHR

80.1%

50%台

地域・お客さまの課題発見・解決を通じた収益増強に加え 自己資本充実にも取り組みます

経営統合前後の自己資本比率(連結・単体)



2026年度(2026年5月)の福邦銀行との合併で自己資本比率は低下します
合併の目的であるシナジーの早期実現のためには 福井銀行単体でも自己資本(比率)の充実が必要です

自己資本充実に向けた取組み

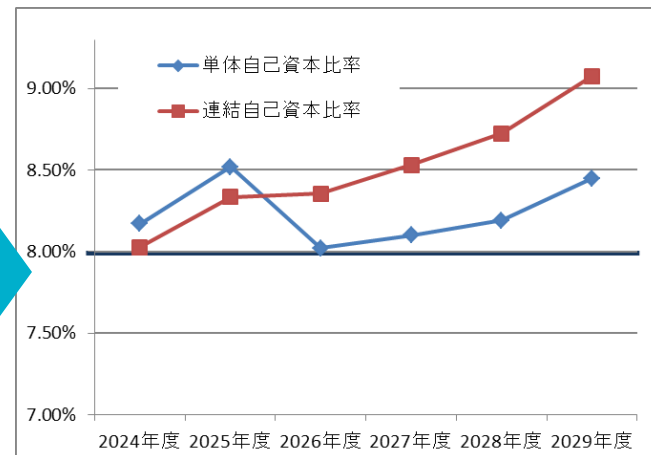
1 政策保有株式の縮減

2024年3月末現在で
390億円(時価)
純資産対比27.5%を占める
政策保有株式について
2027年3月末までに
純資産対比20%未満への
縮減を目指します

2 グループ自己資本の集約

これまでのグループ経営
によりグループ内の
子会社に蓄積された
純資産のうち一定部分を
福井銀行に集約します

増強策取組み後の自己資本比率(連結・単体)



グループの中核である福井銀行の自己資本
を安定的に高めながらシナジーを早期実現
させていきます

- 事前に株式会社福井銀行の許可を得ることなく本資料を転写・複製し、または第三者に配布することを禁止します。
- 本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。また、本資料に記載された事項の全部または一部は、予告なく修正・変更されることがあります。
- 本資料には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により、実際の数値と異なる可能性があることにご留意ください。

【本資料に関するお問い合わせ先】

株式会社福井銀行

経営管理グループ(担当:北出)

TEL:0776-25-8012